

科学の楽しさを伝えよう

～富山県立大学生による出張講座～

背景

事前活動 (各班にて)

- ① 班のメンバー決定
ファシリテータ選出
- ② 小学校1-6年生が興味を持ち楽しめる
活動内容を検討し、決定する



- ③ 科学実験に必要な材料を用意する
- ④ 予定している実験が成功するかどうか
確認をする

活動内容

時： 令和6年11月7日(木)

場所： 学童保育施設
結の家 藤ノ木/ 結の家 あきよし

参加者： リ・碓井教養ゼミⅡ
受講生(28名)

対象： 小学校1～6年生



結の家 藤ノ木：糸電話、ホログラム
作り、炭酸マグマ実験、スー
パーボール作り

結の家あきよし：スライム作り、ダイ
ラタンシー流体作り、炭酸マ
グマ実験

反応・様子

【小学生の反応・様子】

- ・ 興味津々で楽しそう
- ・ 学生の指示に戸惑う時もあった

【大学生の反応・様子】

- ・ 異なる世代の人々とかかわる自信がついた
- ・ 準備不足で実験が止まってしまった時もあった

【学童職員の反応】

- ・ 子供たちは興味や発見、楽しみを得ることができた
- ・ 事前に実験の活動内容を資料などで知っていた

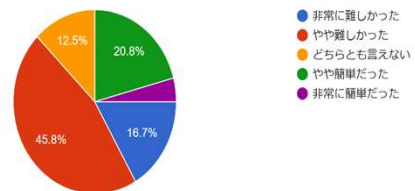


結果・考察

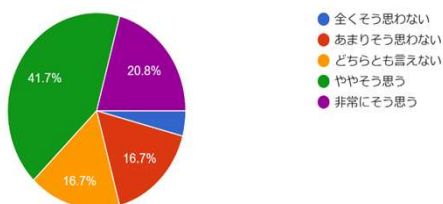
- ・ 自分の考えを正確に伝えることの難しさを感じた
- ・ 企画を立て実行する方法を学べた
- ・ 小学生とコミュニケーションをとる機会は非常に新鮮に感じた
- ・ 本番をスムーズに行うために事前準備が非常に大事



①小学生や指導者と接する際、言いたいことを伝えるのはどのくらい簡単/難しかったですか？
24件の回答



②全体の活動を通じて、自分のコミュニケーション能力が向上したと感じますか？
24件の回答



コミュニケーション能力に自信を持つことができた。